

### 第3回 温泉調査,<おごと温泉スパリゾート雄琴 あがりゃんせ>

活動日 2024年2月13日(火)

参加人数 6名

行程 大津市馬場1丁目→日吉大社→雄琴温泉スパリゾート雄琴  
あがりゃんせ→近江神宮→大津市馬場1丁目

#### 概要

この日、天気は快晴、一変に春になったかのような日差しの下、日吉大社は静寂に包まれていました。日吉大社には神猿さんがおられ、魔よけの象徴として崇められ「まさる」は、「魔が去る」「勝る」に通じ、縁起の良いお猿さんとされています。

又、日吉大社の神様の御霊をお分けした「分霊社」が全国に約3800社存在し、4月には湖国三大祭の一つ「山王祭」が、ここ日吉大社で春を告げる祭りとして盛大に行われます。

この日吉大社より北方向へ15分程、車を走らせると雄琴温泉街に到着、ここ雄琴温泉は平安時代、比叡山延暦寺の開祖、伝教大師最澄によって784年に開湯されたと伝わる。泉質は低張性アルカリ性の単純温泉で湯上りの肌がなめらかになるという美肌の湯、外傷露天風呂はナトリウム炭酸水素塩泉、黄色かかった湯で、効能としては、神経痛、筋肉痛、関節のこわばり、各種慢性の消化器病、皮膚病、婦人病等に効果があるとされます。

今回の調査の「あがりゃんせ」は、2005年に開業された天然温泉で「パワー風呂」「うきうきジェット」「半身浴」「ローリュウサウナ」等、8か所の湯舟があり、自由に健康になるアイテムを選択することが可能です。

雄琴温泉を後にし、車で20分程度の比叡山山麓の地、近江神宮に立ち寄りしました。遙か古代、近江大津京を都と定めた天智天皇を祭神とする神宮で、1940年に創紀、深い森の中の朱塗りの社殿が荘厳な雰囲気醸しだしています。境内には統一時刻制度を確立した天智天皇の漏刻(水時計)が復元され、珍しい時計を集めた「近江神宮時計博物館」があり、遺跡の出土品も展示されています。又「小倉百人一首」を詠んだ天智天皇にちなみ、競技かるた選手権大会の舞台でもあり「かるたの聖地」とされています。

